

国立市教育委員会指定 コミュニティ・スクール

国立市立国立第三中学校

令和6年4月12日

第1号

学校運営協議会だより

学校運営協議会

令和6年度 第1回運営協議会を開催しましたので、議事の概要を報告します。

開催日時：令和6年4月12日（金） 15：30～17：30
会場：国立第三中学校 第一会議室
出席者：堀江馨（会長）、近藤陽子（副会長）、山口茂（校長）
野中英美、内藤薫、加藤祥子、菊田愛恵、伊藤礼子

地域学校協働活動推進員：野中英美

《主な協議内容》

司会：堀江馨（会長） 記録：武内陽子（副校長）

- 国立市学校運営協議会規則等について
- 令和6年度学校経営方針、三中授業スタンダード、学年・学級経営について
- 令和6年度教育課程届について
- 令和6年度学校評価報告書（各分掌・各学年の取組）について
- 校内研究構想図、計画について
- 令和6年度年間行事について

《主な意見》

- 生徒の多様な居場所について
 - ・多様な学びの場として、校内別室支援室が効果的に活用されている。学校だけでなく教育支援室や家庭、バーチャルというものもある。多様な居場所を活用していけるとよい。
 - ・家でも学べる、個でも学べるという選択肢は道としていい。しかし、学校に行かなくても進学していく。これが次の時代なのだろうか。
 - ・家でのオンライン授業を子供が実際にどのように受けているか分からない。
 - ・家庭学習の生徒の成績はどうするのか、評価資料がなければ評価できない。 他
- フルインクルーシブ教育について
 - ・あまり前のめりにならずに着実にやっていってほしい。
 - ・その子にとって一番居心地のいい場所になるとよい。 他
- 携帯について
 - ・中学生に携帯を持たせるか持たせないかは難しい。
 - ・携帯を持たせることでトラブルになったと聞く。保護者がきちんと見ていないとすごい内容が書かれていることもある。
 - ・携帯は、どこでも学べる良さがあり、諸連絡の手段にもなっている。
 - ・校長が昨年度の保護者会で「携帯を持たせているのは保護者であり、最終的な責任は保護者にある。課題があれば一緒に取り組んで行きましょう」と言っていた。その通りであり、学校と保護者が双方で見守っていくのがよい。
 - ・スマホは避けて通るのは難しい時代になった。 他

《協議結果》

第1回学校運営協議会は、令和6年度学校経営方針等すべての内容について承認しました。

次回の学校運営協議会は、令和6年7月10日（水）15時30分より国立第三中学校で開催します。

第1回地域学校協働活動推進員会は令和6年4月23日（火）16時より国立第三中学校で開催します。